

きずなの郷

第57号
2018 夏

発行 社会福祉法人 厚生協会

平成30年9月3日

目次

鈴木政輝理事長 瑞宝双光章受賞…	1
平成29年度事業報告…	2
平成29年度決算報告…	4
平成30年度 新職員紹介……………	5
新人職員交流会…………	5
法人スポーツ大会…………	5
わかふじ寮 屈足わかふじ園…………	6
ひまわり荘 やすらぎ荘……………	7
新得やすらぎ荘・ 地域新得やすらぎ荘・ 清水デイサービス センターやすらぎ荘…	8
合同記事・ 各施設の行事予定…………	9
寄付・寄贈・授産広告 ホームページ 編集後記……………	10

鈴木政輝理事長 瑞宝双光章受賞

平成30年春の褒章で、当法人鈴木政輝理事長が地方自治活動の功績が認められ瑞宝双光章を受章いたしました。

鈴木理事長の地方自治活動を振り返りますと、昭和37年7月に新得町に事務吏員として奉職され、平成9年8月から平成17年8月までの2期8年間は助役として、通算44年余りにわたって新得町行政の進展に尽力されました。他町村に先駆けて事業アセスメントを実施する等、厳しい行財政改革を進められ財政の健全化の基盤を作られたと聞いております。

その間、地場産業である農業の後継者対策に奔走、今では十勝地方を代表するイベントとして定着した「しんとく新そば祭り」の前身となる「手打ちそば屋台村」を発案されるなど地方振興にも寄与されました。

厚生協会では、平成19年12月から監事に就任、平成22年4月からは理事長

としてグループホームの整備等、身体障害者の地域生活に向けた整備や高齢者施設の整備に先頭に立ってご指導頂いています。

その他にも新得町が運営していた養護老人ホームひまわり荘を、平成21年に運営移譲を受け、平成22年には老朽移転改築工事を行いました。平成26年には老朽化していた聴覚障害者養護老人ホームやすらぎ荘の改築に取り組み、聴覚障害を持つ利用者の生活の質の向上を図りました。平成28年には地域密着型特別養護老人ホーム新得やすらぎ荘を新設し高齢者福祉の充実も図りました。

また、町内の社会福祉法人新得白生舎が昭和36年からクリーニング事業を運営していましたが、長引く不況の折、急激に経営が悪化していたことから平成25年に社会福祉法人新得白生舎を吸収合併する形で経営を引き継ぎ、平成26

年には老朽移転改築により受注の拡大、事業収入の経営の安定化も図っております。

この度、厚生協会としてこの受章を称え、8月4日に瑞宝双光章受章を祝う会を開催させて頂きました。

今後とも健康に留意され、幅広い見識と卓越された手腕を引き続きお貸しいただけますよう、職員一同祈念いたします。



▲祝辞を述べる浜田町長



▲挨拶をする鈴木理事長

平成29年度 法人本部及び各施設・事業所の事業報告

■法人本部

平成29年度は法人として創設65年の節目を迎えるにあたり、全事業所で今後、5年から10年間における事業の「中・長期計画」の作成を行った。

法人としての地域貢献、社会貢献においては、地域密着型小規模通所介護事業所たんばぼの整備に合わせて、法人としての専門性を生かし、地域の方々への介護等の相談支援や情報提供を行う拠点となる「地域共生型ハウスたんばぼ」を創設した。

このような状況の中、法人全体で経費削減に取り組むと共に、利用者サービスの向上と運営の安定に向け事業計画に基づき以下の事業を実施した。

理事会開催(9回)、評議員選任・解任委員会の開催(1回)、監事監査(4回)、評議員会開催(2回)、役員研修(1回)、顧問契約(松浦弁護士)、監査契約(富土道公認会計士)、本部各専門委員会(管理部会、施設・在宅事業部会、就労センター部会、研修部会)

■わかふじ寮・第2わかふじ寮・わかふじワークセンター

利用者への支援については、モニタリングを定期的実施し、利用者の状況から支援内容の見直しを行いながら実施した。利用者の高齢化や障害の重度化への対応については、支援の状況の現状把握を行い、作業面、生活面で対策を検討、情報を共有化し対応を行った。

新得高等支援学校との連携については年間を通して、現場実習、校外作業学習の受け入れを行った。又誕生祝い品贈呈事業でも連携を図り取り組みを行った。

①生活支援部門

・支援計画に沿って支援を行った。近年は高齢化による利用者の身体・精神状況の変化が見られていることから支援内容の変更も行った。

②医療部門

・冬季は感染症の持ち込みを予防するため、職員は家族が罹患した場合は職務免除で対応を行った。1月末より職員及び家族からノロウイルス胃腸炎の発生があったが、早期の対応を行った事で利用者等への感染の拡大は無かった。

③授産事業部門

・売上確保や利益向上を目標に事業振興に取り組み、補正予算後の売り上げ目標には達成し事業全体の会計収支は黒字とはなったが、家具建具については当初売り上げ目標額を大幅に下回る結果となった。

■わかふじ寮相談支援事業所

利用者が自立した生活を送ることができる様に、訪問した際に意向や要望の聞き取りを行い、ご本人の意向を基本としながら必要と思われる事柄について助言を行った。又サービス等利用計画案の作成においては、利用者の状況や事業所での支援状況を基に見直しを行った。

■共同生活援助事業所 さくら

利用者への支援については、個別支援計画に基づき地域で落ち着いて生活ができる様に、地域で生活を送る上でのルールを基本とし、身の周りの事など自立した生活が送れる様に支援を行った。食生活については家庭的で且つ偏りのない食事を提供する事を基本とし、利用者の嗜好や季節に合った献立で提供できる様に対応した。

■厚生協会新得白生舎

社会福祉法による授産施設として、利用者の心身の能力に応じ、作業を分担し業務に取り組んだ。怪我・事故の無いよう配慮し、利用者の福利厚生の実現に努めた。また、作業体制を見直したことにより、生産性・品質等をより向上させ、顧客のニーズに合わせた営業を展開してきた。この結果、顧客満足度を高めることができた。

■聴覚障害者養護老人ホーム やすらぎ荘

老人福祉法及び関係法令及び通知に基づき、利用者の自立支援の為にソーシャルワーク機能を強化し、利用者の生活意欲の増進等を図り、生きがいを持ち健全で安らかな生活ができるように支援した。また、市町村などの関係機関と密接な連携を図った。

一般型として3年目を迎え、より効率的なサービスを提供するため、利用者一人一人の心身状態の把握と各関係機関や介護サービス事業者等との連携を図るよう努めた。

①生活支援部門

・利用者一人ひとりの生活の様子を適宜記録し、相談・助言やその他の援助を行った。書き方についても第三者が読んで誤解のない内容であるように留意した。

②医療部門

・常に利用者の全身状態を把握し、異常時は担当医へ報告し、医療機関を受診した。

■特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

昨年に引き続き職員の育成に努め、業務改善のため介護職員の勤務体制の変更を行った。

待機者が減少しているため、法人内の利用者開拓委員会に参加し情報の共有や在宅関係の事業所とも情報を共有し利用者の確保に努めた。

利用者の重度化対応に向けて口腔ケア、おむつ外し、認知症ケア等については、継続して取り組んだ。介護職員の基礎介護力向上については、講習会へ参加し学んだ内容を伝達し自立支援の取り組みを図った。短期入所については、自宅生活支援に向けて、緊急入所の受け入れを実施し努めてきた。

①利用者や家族の意向を計画に取り入れ、状態に合わせて計画を変更し、各利用者のニーズや状態に合った個別支援計画の作成に取り組んだ。

②適宜状態観察バイタルチェックを行い、医師と連携し対応した。随時紹介により医療機関の受診、対応をした。

■地域密着型特別養護老人ホーム 新得やすらぎ荘

開設2年目でまだ経験の浅い職員が多いため育成に努めた。また、利用者や家族の意向に耳を傾け希望に沿った対応が出来るように家族交流会の開催時や個別に面会時に家族に聞き取りを行った。

①ユニットで少人数のケアを実践して、モニタリングを実施し、ケアプランに基づいたサービスの提供に努めた。

②利用者や家族の意向を計画に取り入れ、状態に合わせて計画を変更し、各利用者のニーズや状態に合った個別支援計画の作成に取り組んだ。

■訪問介護事業所 新得やすらぎ荘

①訪問介護サービス

・利用者の望む在宅生活が出来るようにそのニーズを分析し、利用者が利用しやすい訪問事業所となる様努力してきた。また、自立支援・介護予防の視点に立ち、日々の介護サービスを行う事が出来た。今年度は特に医療との連携を重視し、国が勧めるICT化(コンピューター技術の活用)への検討を図るために各研修にも参加した。

②障害福祉サービス

- ・自立支援の視点に立ちつつ利用者本位のサービスに努め、在宅における障害者だけではなく、その家族への気配りも行うよう努めた。

■居宅介護支援事業所 新得やすらぎ荘

介護保険制度は平成12年制度開始以来、在宅サービスを中心に、老後の安心を支える仕組みとして定着してきた状況にあり、居宅介護支援事業においても、利用者の有する能力を勘案し、専門的知識及び質の高いケアマネジメントを通じ、住み慣れた地域で尊厳のある生活を継続できるよう支援していく事が必要とされている。

当事業所においても、介護保険法令の趣旨に従い、利用者と家族の意向を尊重しながら、専門職として総合的なケアマネジメントを行い、居宅サービス計画（ケアプラン）の作成を行い、各サービス提供事業所や行政、医療機関等の他職種連携を図り、適切なサービスが利用できるよう調整を行った。

平成29年度は新得町以外の近隣町村でも「介護予防・日常生活支援総合事業」が開始され、保険者及び各サービス事業所と連携を強めることで、利用者にとって支障のない形でサービス移行を完了することができたほか、法人内の高齢福祉施設について、地域住民向けの説明会を当事業所が主体となって開催する事で、入所施設に対する町民の疑問等を解消する機会とすることができた。

■日帰りサービスセンター やすらぎ荘

利用者が可能な限りその居宅において自立した日常生活を営むことができるよう、入浴および食事の提供、選択的サービスの実施や生活動作に関連する機能訓練の実施をした。

また、健康状態の確認やその他の必要な日常生活の支援をし、利用者の健全で安定した自宅の生活の助長、社会的孤立の解消、心身機能の維持向上等を図るとともに、利用者家族の身体的・精神的負担の軽減を図った。

■清水デイサービスセンター やすらぎ荘

地域で在宅生活が継続できるよう、心身機能訓練から生活行為力向上訓練までの総合的な支援を重視し、在宅での生活状況や興味・関心のあること等把握した上で適切なリハビリテーションの提供を目的とし、理学療法士、看護職員、介護職員、生活相談員が共同して、リハビリの計画・実施・評価を行った。

また、制度改正に向け外部研修や職員勉強会に参加し、理解を深めることに努めた。

■日帰りサービスセンターやすらぎ荘 たんぽぽ

利用者が可能な限り居宅において、その能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、生活等に関する相談及び助言、健康状態の確認そのほか必要な日常生活上の支援機能訓練等のサービスを行った。

また、利用者の安定した生活の促進、心身機能の維持向上を図った。旧事業所は借家を活用していたが、手狭になってきた事や利便性を考え、平成30年1月29日に新築移転を行った。

■屈足わかふじ園

平成29年度は、法人の基本理念及び職員倫理綱領・行動規範を遵守し、利用者の自立と人権の尊重を職員に周知を徹底して、サービスの充実を図るように努めた。

又、個別支援計画に基づき、利用者個々のニーズに応じた支援を実施し、定期的にモニタリングを行う事で支援内容の見直しや確認を行った。

近年、利用者の高齢化と障害の重度化に伴い、誤嚥防止・嚥下機能向上の取り組みとして、「口腔バタカラ体操」を実践し、9月からは口腔トレーニングのDVDの映像を見ながら実践した。風邪の流行に伴い11月から中断したが、3月から実践を再開し、より一層の嚥下機能向上訓練の機会を設け誤嚥防止に努めた。

食事面については、「駅弁の旅」の日を月1回設け、各地の駅弁を堪能して頂き変化のある給食を提供し大変好評だった。サービス利用計画については、相談支援事業所と連携し、施設で作成している個別支援計画と連動した計画となる様、情報を提供し支援を行った。

職員については、サービスの提供を担う介護職員の不足が生じているため、補充に向けて求人誌や折り込のチラシを配布し求人活動を積極的に進めたが、応募者はなく慢性的な介護職員不足が続いた。

設備整備では、転倒による怪我の防止対策として床と壁に保護材を取り付けるなど、利用者個々の身体状況に合わせた居室環境の整備を行った。その他、AEDと食堂の給茶器の更新も行った。

①介護部門

- ・適宜モニタリング会議を開催し、計画の修正と見直しを行いサービスの向上に努めた。

②医療部門

- ・利用者の健康管理については、日々の観察により、状態を把握し、回診時や症状変化のある際には適宜、主治医へ報告し速やかに対応を行うように努めた。
- ・食事の状況を観察し、食事形態の見直しが必要な際は、部門間で確認し変更した。日常生活動作に対する具体的な予防対策については適宜、検討した。

■養護老人ホーム ひまわり荘

老人福祉法、介護保険法及び関係法令を遵守し、利用者の意向と状態に応じた介護サービス計画書並びに個別支援計画書を作成した。計画書に沿ったサービス提供に努め、必要時には関係機関や医療機関との連携を図った。

また、利用待機者確保として行事開催に合わせて「ひまわり荘を知っていただく会」を開催し、円滑な受け入れに努めた。

さらに、委員会では抑制防止及び虐待防止、事故防止の徹底や感染症の予防等を行うと共に経費削減に取り組んだ。

①介護部門

- ・介護サービス計画を3ヵ月毎もしくは身体状況に変化があった際に見直しを行い、サービス担当者会議を開催し、本人のニーズに合ったサービスを提供できるよう介護サービス事業所と連携した。

②看護部門

- ・体調の確認及び状態観察を実施し体調不良時は医療機関へ報告及受診した。
- ・看護経過連絡表を活用し個々の状態、状況を伝達した。

■訪問介護事業所 ひまわり荘

介護保険法令を遵守し、特定施設において作成したサービス計画書を基に利用者の生活環境、能力に応じた訪問介護サービス計画書を作成し計画書に沿ってサービス提供を行った。また特定施設、サービス提供事業者と連携を密にし、内容に変更があった際は迅速に対応した。

平成29年度決算報告

平成30年 3月31日

財 産 目 録

(単位：円)

資産の部		
科 目	摘 要	金 額
流 動 資 産		870,726,843
固 定 資 産		5,852,770,770
資 産 合 計		6,723,497,613
負債の部		
科 目	摘 要	金 額
流 動 負 債		176,674,467
固 定 負 債		336,743,313
負 債 合 計		513,417,780
差 引 正 味 資 産		6,210,079,833

貸 借 対 照 表

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流動資産	870,726,843	流動負債	176,674,467
固定資産	5,852,770,770	固定負債	336,743,313
		基本金	14,500,000
		国庫補助金等特別積立金	3,398,019,512
		その他の積立金	967,151,167
		次期繰越活動収支差額	1,830,409,154
資産合計	6,723,497,613	負債純資産合計	6,723,497,613

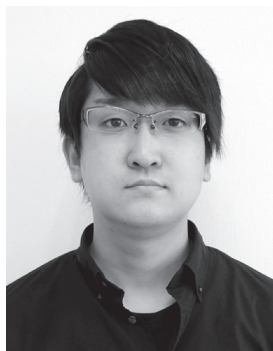
事 業 活 動 収 支 計 算 書

科 目	金 額
介護保険事業収益	501,603,390
老人福祉事業収益	277,315,231
就労支援事業収益	198,526,962
障害福祉サービス等事業収益	732,459,659
生活保護事業収益	20,194,360
その他の事業収益	11,958,130
経常経費寄附金収益	13,343,857
借入金利息補助金収益	243,278
受取利息配当金収益	94,270
その他のサービス活動外収益	17,290,015
施設整備等補助金収益	17,728,002
拠点区分間繰入金収益	141,509,868
その他の収益	45,111,000
収入合計	1,977,378,022
人件費	970,906,313
事業費	271,260,732
事務費	232,169,608
就労支援事業費用	197,085,467
利用者負担軽減額	2,127,921
減価償却費	151,394,089
国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 103,591,229
徴収不能引当金繰入	960,000
支払利息	1,706,536
固定資産売却損・処分損	972,934
拠点区分繰入金費用	141,509,868
支出合計	1,866,502,239
当期活動増減差額	110,875,783
前期繰越活動収支差額	1,774,234,271
その他の積立金取崩額	45,600,000
その他の積立金積立額	100,300,900
次期繰越活動増減差額	1,830,409,154

資 金 収 支 計 算 書

科 目	金 額
介護保険事業収入	501,603,390
老人福祉事業収入	277,315,231
就労支援事業収入	198,526,962
障害福祉サービス等事業収入	732,459,659
生活保護事業収入	20,194,360
その他の事業収入	11,958,130
借入金利息補助金収入	243,278
経常経費寄附金収入	13,343,857
受取利息配当金収入	94,270
その他の収入	17,290,015
施設整備等補助金収入	17,728,002
積立資産取崩収入	45,600,000
収入合計	1,836,357,154
人件費支出	928,539,313
事業費支出	271,260,732
事務費支出	232,169,608
就労支援事業支出	195,678,904
利用者負担軽減額	2,127,921
支払利息支出	1,706,536
設備資金借入金元金償還支出	33,972,000
固定資産取得支出	43,857,374
ファイナンスリース債務の返済支出	1,285,884
積立資産支出	100,300,900
支出合計	1,810,899,172
当期資金収支差額	24,485,048
前期末支払資金残高	718,605,888
当期末支払資金残高	743,090,936

平成30年度 新職員紹介(4月1日付)



地域新得やすらぎ荘
介護職員
阿部 大夢



屈足わかふじ園
介護職員
安藤 有沙



屈足わかふじ園
介護職員
斉藤沙知穂



第2わかふじ寮
介護職員
高峯沙也加

厚生協会新職員交流会 ～焼肉で交流を深めました～

7月4日、新職員交流会を行いました。

交流会は、理事長、常務からの慰労や激励と共に、職場が違うため平日頃なかなか交流する機会のない同期とのつながりを深めることを目的に毎年行っています。

今年の新職員は消極的に思われましたが、アル

コールが入ると徐々に会話も弾み笑いが広がっていました。また先輩職員から突然のマシュマロとカントリーマームの差し入れに一同大喜びでした。

新職員は、会場準備から片づけまで互いに協力しておこない、解散前にはお互いのメールアドレスを交換していました。

これからも横のつながりを深め、お互いに励ましあいながら厚生協会の一員として活躍してほしいと思います。

法人スポーツ大会 ～フロアカーリングで熱戦～

7月7日、新得町体育館にて、法人スポーツ大会を開催しました。競技はフロアカーリング。雨が降りこの時期にしては肌寒いほどの気温でしたが、館内は職員たちの熱気であふれ、各施設から募った総勢64人27チームが6ブロックに分かれて試合に挑みます。総当たり戦は2時間以上に及び、初心者も腕に覚えのある者も、時には真剣に時には和気あいあいとゲームを楽しみました。

試合の後は、体育館裏の焼肉ハウスで表彰式と懇親会を行い、一層の懇親を深めました。



▲選手宣誓からスタート。



▲投球の行方に思わず声が…。



▲表彰式。みんな頑張りました。



▲焼肉でさらに交流を深めました。

わかふじ寮施設研修旅行 ～充実の体験教室やグルメに大満足～

毎年恒例の施設研修旅行が、道内、道外の2班に分かれて行われました。

1班目は2泊3日の日程で静岡・小田原方面へ。あいにくの天候で富士山は拝めませんでしたが、手作り体験教室で自分の作った熱々のかまぼこを食し、砂金探し体験では利用者のみならず、職員も時間を忘れ大興奮。充実した旅行となりました。2班目は1泊2日の日程での道内旅行、登別マリパークニクスでイルカやイワシ等のパフォーマンスを満喫し、伊達時代村で忍者ショーを鑑賞。雰囲気一杯のお店でお煎餅やお団子で小腹を満たした後、お昼には白老で白老牛のハンバーグに舌鼓をうちました。1班、2班ともお腹いっぱい笑顔いっぱいの旅行となりました。



▲お城をバックにハイポーズ!



▲焼きたてのおせんべいっておいしいね。

屈足わかふじ園

屈束手話の会慰問 ～祝30周年おめでとうございます!!～

5月12日に屈束手話の会のメンバー12名が来園され、手話コーラスを披露して頂きました。

施設が開設した平成12年から毎年お越し頂いており、今回は「四季の歌」や「上を向いて歩こう」、「ふるさと」など全4曲を披露して頂きました。

屈束手話の会は平成元年に会を設立されたとのことで、今年で30周年を迎えられました。

今回は記念すべき年の慰問となりました。

手話コーラスの最後「ふるさと」の曲ではメンバー全員がステージを降り、利用者と一緒に手話を交えながら交流しました。

利用者も職員も、メンバーの手話を見様見真似で、一緒に手話をしながら歌い、とても楽しい一時を過ごしました。



▲祝30周年!! これからも
よろしくをお願いします!!



▲「ふるさと」の手話を
見様見真似でやってみました。

新しい仲間の紹介 ～中野綾太(ナカノ リョウタ)さん～

中野さんは新得町出身の19歳。

今年の4月からわかふじ寮の通所利用を開始しました。

現在、ウエス製造に従事しています。

いつも明るく、楽しく元気に生地裁断、梱包等をオールマイティにこなしています。



▲タオルウエスを
梱包している様子。真剣です。

屈足わかふじ園

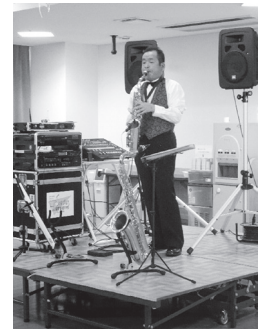
One Man Digital Orchestra 佐藤春美オールスターズ演奏会 ～一人で多種多様の楽器を演奏～

6月29日に今年で7回目となる佐藤春美さんの演奏会を行いました。

佐藤さんは陸上自衛隊第5音楽隊のサクソ奏者としてご活躍をされておりましたが、一昨年12月に定年を迎えられ退職。昨年の1月からは、サクソ教室・作曲・レコーディング・CD作成などを業務とする「佐藤春美ミュージックプランニング」を設立し、今日に至っております。

1人でサクソやエレキギター、ウィンドシンセサイザーなど多彩に楽器を奏で、大迫力の演奏でした。また今回は施設のお隣、屈足保育園の年長さんと小規模多機能施設ららの利用者さんにもお越しいたいただき、『アンパンマン』から『演歌メドレー』など、利用者の世代に合わせた選曲を披露していただき、演奏していただきました。テンポの速い曲では踊る利用者もいて、会場は大盛り上がりとなりました。

1時間ほどの演奏会でしたが、利用者・職員共々拍手が絶えず、あっという間に時間が過ぎた演奏会でした。来年もぜひよろしくお願いします。



▲多彩に楽器を奏でる佐藤さん。



▲あっという間の1時間でした。楽しかったです。

防犯講習を実施

～不審者対応と110番通報、護身術訓練～

5月24日、地域交流スペースなでしこにおいて、新得警察署の方を講師にお招きし防犯講習を実施しました。

不審者対応では相手を刺激せず施設内に入れないような説明の方法や、不審者に近づきすぎない位置関係を確認しました。相手を刺激しないためには「いません」「わかりません」等の否定的な説明をしない事、相手の斜め前に立つ等すぐに不審者の行動に対応できる距離感を保つ事が大切だと理解しました。

110番通報訓練は警察に不審者の特徴や言動を報告するものです。服装等すぐに変える事ができる特徴より人相や体格等の逃走中に変える事ができない

特徴を把握する事が必要だと学ぶ事ができました。

護身術訓練は不審者からの攻撃の避け方、腕を掴まれた時の外し方の実技を行いました。腕を強く握られていてもすぐに外す事のできる技を教えてくださいました。

初めての防犯講習終了後、職員からは「不審者はグイグイ中に入って来ようとするから玄関で適度な距離を保つ事ができなかった」「不審者の特徴は見ていたつもりだが答えられなかった」等の話があり、とっさの対応の難しさを実感しました。

今後も利用者の安心、安全と防犯意識向上の為に警察署と連携し訓練を定期的に行います。また不審者対応中の暗号を防災管理委員会中心に検討していきたいと思います。



▲不審者を施設に入れないよう説明



▲警察署への通報訓練



▲攻撃を避ける訓練



▲掴れた腕を外す訓練

やすらぎ荘

新得町高齢者芸能発表会

～練習の成果を発揮～

6月20日に高齢者芸能発表会があり、ひまわり荘は歌を、やすらぎ荘は踊りを披露しました。みなさんこの日のために何度も練習を重ねました。そして、いざ本番！ステージに上がった時には目の前に沢山のお客さんがいて、緊張している様子でしたが、だんだん緊張がほぐれて笑顔になり、楽しく発表できました。町内の方々の発表も見ることができ、みなさん楽しまれていました。



▲「しのぶ恋」を熱唱♪



▲上手に踊れています！

日帰り旅行

～ドライブと外食を楽しみ気分転換～

5月に5班に分かれて日帰り旅行を行ないました。気温や天候が心配されたのですが、どの日も全て天候に恵まれました。場所は十勝管内（清水町、士幌町）と富良野方面です。

士幌町では、新しい『道の駅ピアしほろ21』と『士幌高原ヌブカの里』に行きました。豊かな自然に恵まれた士幌町。市街地の近くに新しい『道の駅ピアしほろ21』がありました。辺りは畑に囲まれており、農業を身近に感じられる場所でした。「しほろ牛」を堪能できる『にじいろ食堂』で昼食を摂りました。カフェでは町特産のじゃがいもを使った「しほろスタイルのフライドポテト」やこだわりのコーヒー、ショップではソフトクリームがありました。士幌町らしい食が充実しており皆さん「美味しい」と笑顔で召し上がっていました。『士幌高原ヌブカの里』では、目の前に広がる大パノラマの景色に息をのみました。どこまでも広がる十勝平野を見渡しながら、澄んだ空気と風を全身で感じられる場所になっており、「きれいだね」と喜ばれていました。



▲十勝牛丼いただきます。



▲ソフトクリーム美味しいな

中庭で弾む会話

～日向ぼっこしながらお茶会をしています～

春になり、天気がとてもよく暖かい日は、午後から中庭でお茶やおやつを召し上がって過ごされています。寒い季節は外へ出る機会が少なかったため、のんびりとお日さまを浴びるだけでも楽しいとおっしゃる方もいます。

この日もすぐそばに咲く花壇の花を眺めたり、そよ風に吹かれて気持ちがいいのかうっとり目を細める方もいらっしゃいました。

施設内でのいつものお茶の時間より、会話が弾み笑い声で溢れていました。

これからも毎日の生活にちょっとした楽しみを提供していきたいと思っています。



▲外はやっぱ気持ちがいいね。



▲爽やかな風に吹かれて飲むオロナミンCは最高!

地域新得やすらぎ荘

日中自然災害避難訓練 ～台風10号を教訓に～

6月29日、地域・特養合同で日中自然災害避難訓練を行いました。この訓練では施設の横を流れている河川の増水による水害や山からの土砂崩れ等自然災害を予測し、被害が生じる前に避難するという訓練です。前年度は特養がすべてのベッドの運搬を行いましたでしたが今回は特養・地域合同で実施しました。

まず利用者の方を避難場所である養護の食堂へ誘導後、数日・数か月生活することを考慮し、特養は養護の食堂に、地域は養護の廊下にベッドを移動しました。ベッドを廊下に並べる際に、廊下の両端に並べようと通路が車椅子1台分しか通れないため、片側に寄せて並べていきました。地域は今回初めてのベッド運搬ということもあり、写真撮影を念入りにし、今後の避難訓練に活かせるよう反省・マニュアル作成をしました。こうした機会に利用者・職員の防災意識を高め、有事の際には安全に避難できるようにしていきたいと考えています。



▲防災について、皆さん真剣に話を聞かれています。



▲廊下にずらりと並んだベッドと机

出張理美容の巻

～特養の生活、紹介します。その1～

新得やすらぎ荘は「特別養護老人ホーム」(特養)です。特養とは、利用者が安心安全な毎日を送っていただけるようお世話をしたり健康管理などを行う入所施設です。時には様々なイベントで楽しんでもらうこともありますが、それだけでは「普通の生活」には足りません。様々な方の力を借りて利用者に「普通の生活」を送っていただいていることを何回かに分けて紹介したいと思います。

今回は出張理美容です。帯広のV E S Sさんが毎月来荘して、希望者にカットや顔そりだけでなく、パーマ、カラーまでお願いしています。外出が難しい方や、環境の変化に弱い方も、格好よく変身!「さっぱりしましたね」「よく似合いますね」という声があちこちで聞こえ皆さん笑顔になってくださいます。

V E S Sの皆さん、これからもよろしくお願いします。



▲眠っていても支えながらカットしてもらえます。



▲男前をお願いします。

清水デイサービスセンター

外食行事 ～わかふじパン～

6月21日に清水デイサービスセンターやすらぎ荘の外食行事として、パン工房わかふじに行ってきました。

店内にたくさんのパンが並ぶ中、お目当てのパンがある利用者さんや、自分の家族へのお土産にパンを買う利用者さんが「これも美味しそうだね」と言われたり、利用者さん同士でお互いのパンを見ながら「そのパン、私も買いたいな」と楽しげに話をされていました。

新得町に住んでいても普段、自分でパンを買いに行くことができない利用者さんや今回、初めてパン工房わかふじに行く他町村の利用者さんが多く、「良かったよ」「また来ようね」「よその町のパン屋さんに行くのも楽しいね」など喜ばれていました。



▲このパンも美味しそう。



▲たくさんのパンを買いました。

いかなる時も利用者が安心して暮せるために ～法人研修会「台風10号の被害」～

6月26日、わかふじ寮にて法人研修会「台風10号による水害～その時私たちは…そしてこれから…～」が行われました。講師としてお招きしたのは、一昨年夏の台風10号で施設が床上浸水に遭われた社会福祉法人南富良野大乗会一味園より伊藤ひろみ園長をはじめ3名の皆さまです。

限られた職員で利用者を安全に誘導し避難所で過ごすことや、泥水が入った施設の環境を整え再開するまでの困難がスライドの写真と共に語られました。またこの経験をもとに災害想定マニュアルを作り直し、避難訓練を行ったり避難所で活用できる介護術を研修するなど様々な対策を行うようになったとのこと。一味園の皆さま、お忙しい中貴重なお話をありがとうございました。

このような災害はあってほしくはありませんが、どんな時でも利用者に安心して暮らしていただけるよう職員一同取り組んでいきたいと思ひます。



▲聴覚障害のある職員のために手話通訳も行っています。



▲写真を見ながらのお話は、とても学びの多いものでした。

交通安全の誓いを新たに ～第19回交通安全大会～

6月4日にわかふじ寮交流ホームふじにて第19回交通安全大会を行いました。新得警察署の小川交通課長をお迎えし、様々な情報や交通事故に遭わないための貴重なお話をいただきました。会場には多くの厚生協会職員が集まり、真摯にお話を聞いていました。

毎年恒例の「交通安全の誓い」も行い、また今年一年、交通事故に遭わない・起こさないよう、厚生協会職員一同、気を引き締める機会となりました。



▲小川交通課長から色々なお話をさせていただきました。



▲職員一同真剣に話を聞いています。



▲交通安全を宣言！

行事予定

各施設の行事予定(8月～12月)

わかふじ寮

- 9月 合同運動会
- 10月 文化祭
- 12月 クリスマス会・もちつき・感謝の集い

ひまわり荘

- 8月 盆法要・おやつ作り(喫茶店)
- 9月 ひまわり荘敬老会・秋の交通安全教室
- 10月 移転記念食事会・一泊旅行
- 11月 新得保育所交流会
- 12月 クリスマスの集い・年取り

屈足わかふじ園

- 8月 夏の夕べ・花火大会・きずなの郷まつり
- 9月 避難訓練
- 10月 味覚祭
- 11月 十勝ウィンドシンフォニー演奏会
屈足手打ちそばの会訪問
- 12月 屈足保育園交流会
クリスマス会・もちつき

新得やすらぎ荘

- 8月 七夕花火大会・納涼映画会
- 9月 合同運動会・秋の味覚祭
- 10月 紅葉ドライブ
- 11月 鍋の会・長寿の祝
- 12月 もちつき・クリスマス会・年越し

やすらぎ荘

- 8月 お料理・お茶会・茶道
- 9月 合同運動会・秋の味覚祭
- 10月 施設旅行(1泊2日)・施設内ゲーム大会
長寿の祝
- 11月 町民芸能芸術祭・帯広外出・鍋の会
- 12月 もちつき・クリスマス会・年越し

地域新得やすらぎ荘

- 8月 七夕花火大会・納涼映画会
- 9月 合同運動会・秋の味覚祭
- 10月 紅葉ドライブ
- 11月 鍋の会・長寿の祝
- 12月 もちつき・クリスマス会・年越し

